

## 政府・レナモ間の政治・軍事的緊張の高まりに伴う注意喚起

平成28年2月19日  
在モザンビーク日本国大使館

在留邦人の皆様

政府・レナモ間の政治・軍事的緊張が高まりつつあります。去る11日、ソファアラ州サヴェ川近くの国道1号線で4台の民間車両が銃を所持した正体不明のグループに襲撃され8名が負傷した他、17日には国連の食糧農業機関(FAO)の車両がソファアラ州マリンゲ付近の国道1号線で同じく正体不明の者に襲撃されるなどの事案が発生しています。

これらの状況に対し、17日(水)からソファアラ州国道1号線のサヴェ川とムシュンゲを結ぶ110kmの区間では警察による通行車両に対する警護が行われています。

今後、同様の襲撃事案が発生する可能性もありますので、国道1号線のサヴェとムシュンゲ間及び国道6号線のベイラとシモイオ間の通行は控える事をお勧めします。またソファアラ州、マニカ州、テテ州及びザンベジア州に滞在あるいは滞在予定の方は、引き続き報道や在モザンビーク日本国大使館等から最新の情報を入手し、襲撃等に巻き込まれないようご注意ください。